

民衆の
声
ボイス

VOICEよこはま

公明党横浜市会議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL.671-3023 FAX.681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com

公明党市会議員団の提案が 10月よりスタートします

高齢者の外出を支援するため、公明党が強く主張してきた高齢者のための優待施設利用促進事業が10月からスタートします。

高齢者が協賛施設で優待証を提示すると、施設入場料や商品の割引など優待サービスが利用できる仕組みで、政令指定都市では初めての取組みとなります。優待証は、65歳以上の希望される方全員に配布されます。

優待証を使って外出を楽しむことのできる施設は、開港資料館などの公共施設や協賛店など、100施設以上を目標としております。



◆高齢者のための

優待施設 利用促進事業

◆**子育て家庭応援事業**

新たな子育て家庭応援事業が10月からスタートします。

妊娠中の方や小学生以下のお子様がいる家庭が対象で、市の携帯サイトやホームページ上で登録を行い、ダウンロードした登録証を提示することで、市内の店舗・施設で割引・優待などさまざまな子育て応援サービスを利用できます。

協賛店舗・施設数は、平成21年3月末に1千200カ所、平成22年3月末には3千500カ所に拡大していく予定です。

この制度は地域の発展と子育てにやさしい横浜をつくるために公明党が提案し実現した制度です。



平成20年 横浜市会 第2回定例会 報告



横浜市議員 **かのう重雄**

女性の心とからだのサポートについて

公明党がこれまで推進してきた女性専門外来の設置、乳がん健診へのマンモグラフィの導入、今年から始まる乳がん・子宮がん健診担当者への『個人あて通知』に加え、今後さらに女性が自分のからだへの理解を深め、ライフステージに応じた健康維持が図れるような支援策の強化を訴えました。

特に、「若い女性が安心して総合的に相談できる機能を強化すべき」との公明党からの提案に対し、中田宏横浜市長か

らは、携帯電話での情報提供や若い女性向けの新企画に取り組みとの答弁がありました。

あり資源循環局による高齢者宅からの「ふれあい収集」を活用することなどを提案しました。

高齢者の

見守りネットワークについて

年々増加する一人暮らし高齢者の安心のために、「見守りネットワーク」を構築する必要が

市長からは、救命救急講習を受講している収集職員により、適切な対応が期待できることや、地域での連絡体制の確立等に取組むとの答弁がありました。

—資材高騰に柔軟対応—

市発注の公共工事にスライド条項を適用

急激な資材の高騰で市内企業の経営が苦しくなっております。この状況を緩和するため、公明党が公共事業での単品スライド条項の適用を提案し、中田市長が「速やかに対応する」と答えました。

その結果、6月23日より、市発注の公共工事で契約日後に資材価格が高騰した場合、代金を上乗せできる「単品スライド条項」を適用することになりました。

対象建設資材は鋼材類と燃料油。6月23日時点で継続中の工事と、同日以降の新規契約工事に関して、対象建設資材の価格上昇に伴う増額部分のうち、変動前工事額の1%を超える金額について上乗せできるようにしました。

長寿医療制度（後期高齢者医療制度） ～専用ダイヤル・コールセンター～

Tel.440-6700 Fax.441-1500

●時間/8:30～17:15(平日)
※または、お住まいの
〔区役所 保険年金課〕まで

横浜市コールセンター ～便利な暮らしの情報ガイド～

Tel.664-2525 Fax.664-2828

●時間/8:00～21:00(土・日・祝日を含む毎日)
●Eメール/callcenter@city.yokohama.jp

市民相談

横浜市議員

TEL045-365-2054 FAX045-365-1690

E-mail:info@shigeo-kano.com

http://www.shigeo-kano.com/

お気軽にご相談ください。 **かのう重雄**

かのう議員 携帯版[ウェブサイト]

《ケータイかのうしげお》

今すぐアクセス/.....>

[QRコードを読み取ってください]

